

一般社団法人日本血栓止血学会

平成 24 年度
事業報告
計算書類
監査報告書

自 平成 24 年 4 月 1 日

至 平成 25 年 3 月 31 日

平成 24 年度事業報告書

自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

1. 会員の状況

平成 25 年 3 月 31 日現在の会員数は、次のとおりである。

正会員	1,001 名
賛助会員	21 社
名誉会員	23 名
功労会員	56 名

2. 代議員（社員）の状況

158 名（平成 25 年 3 月 31 日現在）

3. 役員の状況

代表理事（理事長）	坂田洋一				
理 事	浅田祐士郎	一瀬白帝	内山真一郎	浦野哲盟	尾崎由基男
	後藤信哉	嶋 緑倫	鈴木宏治	富山佳昭	藤村吉博
	松下 正	宮田敏行	村田 満	和田英夫	
監 事	松野一彦	高橋芳右	大村醇吉		

4. 運営組織の状況に関する事項

1) 社員総会の開催状況

第 4 回定時社員総会

平成 24 年 6 月 7 日（木）11 時 10 分～11 時 40 分

開催場所 ハイアットリージェンシー東京 センチュリールーム

報告事項

平成 23 年度（平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで）事業報告

議 案

第 1 号議案 平成 23 年度計算書類承認の件（原案どおり承認）

第 2 号議案 理事 2 名選任の件（原案どおり承認）

第 3 号議案 監事 1 名選任の件（原案どおり承認）

2) 理事会の開催状況

(1) 平成 24 年 5 月 2 日（水）

第 1 回理事会については、13 名の理事全員が同意の意思表示をし、議案に賛成したので本会の理事会規則第 9 条の規定により、当該議案につき、理事会の議決あったとみなされた。

①理事会の議決があったものとみなされた事項の内容

第 1 号議案 理事候補者 2 名推薦の件（原案どおり承認）

第 2 号議案 監事候補者 1 名推薦の件（原案どおり承認）

②①の事項を提案した理事の氏名

理事長 坂田洋一

③理事会の決議があったとみなされた日

平成 24 年 5 月 2 日

(2) 平成 24 年 6 月 7 日 (木) 8 時～10 時 50 分

出席者 出席理事 13 名 出席監事 3 名

開催場所 ハイアットリージェンシー東京 白鳳

* 議案

第 1 号議案 平成 23 年度計算書類承認の件 (可決)

第 2 号議案 定時社員総会開催時期の件 (可決)

第 3 号議案 SSC 委員会活動経費は本会会計処理基準に則る件 (可決)

第 4 号議案 運営委員会委員及び SSC 部会長の選任 (可決)

運営委員会会計担当委員 小嶋哲人

運営委員会渉外担当委員 荻尾七臣

運営委員会広報担当委員 森下英理子

学術標準化委員会 (SSC)

血友病部会 部会長 天野景裕

抗リン脂質抗体部会 部会長 家子正裕

凝固線溶検査部会 部会長 北島 勲

第 5 号議案 学術推進委員会 (SPC) 「炎症と血栓部会」名称を「炎症・免疫と血栓部会」に変更 (可決)

第 6 号議案 内規一部改訂の件 (可決)

第 7 号議案 DIC 診断基準作成委員会設置の件 (可決)

第 8 号議案 倫理委員会設置の件 (可決)

委員長 浅田祐士郎 (可決)

審議事項

①血液学会理事選挙への対応について

②第 37 回学術集会会長の件

③血小板凝集能測定器 Verify Now の医療機器承認要望書の件

報告事項

①教育プロジェクト進捗状況

②会誌 Web 投稿システム Editorial Manager 開始

(3) 平成 24 年 7 月 11 日 (水)

第 3 回理事会については、15 名の理事全員が同意の意思表示をし、議案に賛成したので本会の理事会規則第 9 条の規定により、当該議案につき、理事会の議決あったとみなされた。

①理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

第 1 号議案 DIC 診断基準作成委員会委員承認の件 (承認)

②①の事項を提案した理事の氏名

理事長 坂田洋一

③理事会の決議があったとみなされた日

平成 24 年 7 月 11 日

(4) 平成 24 年 9 月 21 日 (金) 16 時～18 時

出席者 出席理事 12 名 出席監事 3 名

開催場所 東京国際フォーラム 会議室 G607

* 議案

第 1 号議案 第 37 回 (平成 27 年度) 学術集会会長選任の件 (尾崎由基男理事を選任)

第 2 号議案 あり方委員会設置承認の件 (可決)

第 3 号議案 学会振興プロジェクト基金創設承認の件 (可決)

第 4 号議案 教育プロジェクト事業承認の件 (可決)

第 5 号議案 定款施行細則改定の件 (原案どおり承認)

第 6 号議案 倫理委員会内規の件 (原案どおり承認)

第 7 号議案 名誉会員(白幡 聡先生, 丸山征郎先生), 功労会員(森田隆司先生)承認の件(可決)

第 8 号議案 日本医療安全調査機構入会承認の件 (可決)

第 9 号議案 APSTH/JSTH ジョイントシンポジウムを本会事業として開催する件 (可決)

第 10 号議案 SSC 凝固線溶検査部会部会員承認の件 (承認)

副部会長 橋口照人 森下英理子

部会員 松野一彦 川杉和夫 伊藤隆史 山崎昌子 長尾毅彦 矢坂正弘

藤森祐多 清水利昭

第 11 号議案 血友病関連ガイドライン改定の件 (可決)

第 12 号議案 COI 委員会委員長選任の件 (可決)

委員長 富山佳昭

審議事項

①第 35 回学術集会時に行われる血管生物医学会とのジョイントシンポジウムの件

②フィブリノゲン分解産物測定依頼の件

報告事項

①倫理委員会報告

②第 35 回学術集会準備状況報告

③平成 25 年度社員総会日時報告

④学術標準化委員会報告

⑤編集委員会報告

(5) 平成 24 年 9 月 26 日 (水)

第 5 回理事会については、15 名の理事全員が同意の意思表示をし、議案に賛成したので本会の理事会規則第 9 条の規定により、当該議案につき、理事会の議決あったとみなされた。

①理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

第 1 号議案 倫理委員会委員承認の件 (承認)

②①の事項を提案した理事の氏名

理事長 坂田洋一

③理事会の決議があったとみなされた日

平成 24 年 9 月 26 日

(6) 平成 25 年 1 月 26 日 (土) 14 時～17 時

出席者 出席理事 13 名 出席監事 2 名

開催場所 東京国際フォーラム 会議室 G504

* 議案

第 1 号議案 あり方委員会委員選任の件 (可決)

第 2 号議案 血友病関連ガイドライン作成委員会委員承認の件 (可決)

第 3 号議案 任期満了に伴う次期理事候補者 (13 名) 推薦の件 (可決)

第 4 号議案 任期満了に伴う次期監事候補者 (2 名) 推薦の件 (可決)

第 5 号議案 財務委員会設置の件 (可決)

委員長 内山真一郎 (可決)

第 6 号議案 SPC 委員会委員長選任の件 (可決)

委員長 一瀬白帝 (可決)

第 7 号議案 学術集会企画委員会委員長選任の件 (可決)

委員長 後藤信哉 (可決)

第 8 号議案 学術奨励賞選考委員会委員及び編集委員会委員選任の件 (可決)

①学術奨励賞選考委員会

委員 朝倉英策 小嶋哲人

②編集委員

委員 大森司 野上恵嗣 森下英理子 竹下享典

第 9 号議案 COI 委員会細則改定の件 (可決)

第 10 号議案 SSCDIC 部会員 (西尾健司) 申請の件 (承認)

審議事項

①後天性低フィブリノゲン血症への厚生労働省適用申請拡大の件

②コアグチェックの有用性検討委員会設置の件

③学術奨励賞選考基準の件

④編集委員会内規改定の件

報告事項

①第 35 回学術集会準備状況

②第 1 回教育プロジェクト開催状況

③平成 25 年度学術奨励賞選考結果報告

④編集委員会報告

(7) 平成 25 年 3 月 23 日 (土) 13 時～15 時

出席者 出席理事 14 名 出席監事 3 名

開催場所 東京国際フォーラム 会議室 G605

* 議案

- 第1号議案 平成25年度事業計画承認の件（可決）
- 第2号議案 平成25年度収支予算書承認の件（可決）
- 第3号議案 血栓止血認定制度検討委員会設定の件（可決）
- 第4号議案 フィブリノゲン検討委員会設置の件（可決）
- 第5号議案 コアグチェック検討委員会設置の件（可決）
- 第6号議案 企業による薬剤等保健適用拡大申請に係る件（可決）

審議事項

- ①SSC委員会ワーキンググループ設置の件
- ②学会誌刊行印刷会社変更の件
- ③学術奨励賞応募要項の件

報告事項

- ①第35回学術集会準備状況報告
- ②ISTH理事会報告

3) 理事長補佐理事会の開催状況

(1) 平成24年4月20日（金） 14時～16時

開催場所 東京国際フォーラム G406

出席者 4名（坂田洋一 一瀬白帝 鈴木宏治 村田 満）

* 議題

- ①第35回学術集会日程の件
- ②理事候補者推薦の件
- ③監事候補者推薦の件
- ④SSC委員会血友病部会部会長推薦の件
- ⑤SSC委員会凝固線溶検査部会部会長候補者の件
- ⑥SPC委員会動物モデル部会長承認の件
- ⑦学術集会運営規程改定の件
- ⑧学会誌投稿規程改定の件
- ⑨倫理委員会設置の件

(2) 平成24年11月9日（金）14時～16時

開催場所 三菱コンファレンススクエア Mプラス 10階ルームA

出席者 5名（坂田洋一 一瀬白帝 尾崎由基男 鈴木宏治 大村醇吉）

* 議案

- ①学術集会時の共催シンポジウムの件
- ②教育プロジェクトの件
- ③あり方委員会委員候補者の件
- ④血友病関連ガイドライン作成委員会委員候補者の件

報告事項

- ① ISTH 理事会報告
- ② APSTH メルボルン開催報告

5. 事業の状況

(1) 学術集会

第 34 回学術集会 平成 24 年 6 月 7 日～9 日
 会長 内山真一郎（東京女子医科大学医学部神経内科）
 会場 ハイアットリージェンシー東京

(2) 第 7 回学術標準化委員会シンポジウム 平成 25 年 1 月 12 日（土）

世話人 松下 正（名古屋大学医学部附属病院 輸血部）
 会場 東医健保会館

(3) 会誌の刊行事業

- 1. 日本血栓止血学会誌
 - 23 巻 2 号（平成 24 年 4 月号）
 - 23 巻 3 号（平成 24 年 6 月号）
 - 23 巻 4 号（平成 24 年 8 月号）
 - 23 巻 5 号（平成 24 年 10 月号）
 - 23 巻 6 号（平成 24 年 12 月号）
 - 24 巻 1 号（平成 25 年 2 月号）

(4) 研究助成、調査及び教育事業

DIC 診断基準作成委員会
 第 1 回 平成 24 年 9 月 10 日
 第 2 回 平成 25 年 2 月 4 日

(5) 内外の関係学術団体との連携事業

- 1. 日本循環器学会、日本動脈硬化学会、日本脳卒中学会、日本救急医学会、日本血管生物医学学会と第 34 回日本血栓止血学会学術集会時においてジョイントシンポジウムの開催
- 2. Asian-Pacific Society of Thrombosis and Hemostasis と第 34 回日本血栓止血学会学術集会時においてジョイントシンポジウムの開催

(6) その他の事業

- 1. 第 34 回日本血栓止血学会学術集会市民公開講座
- 2. 学術奨励賞授与 2 名

平成 24 年 6 月 10 日

計 算 書 類

貸 借 対 照 表

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

(単位：円)

I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	141,838,932		
前払費用	130,000		
仮払金	18,192		
流動資産合計			141,987,124
2. 固定資産			
敷 金	130,000		
固定資産合計			130,000
資産の部合計			142,117,124
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	7,548,000		
預り金	177,549		
未払税金	728,200		
流動負債合計			8,453,749
負債の部合計			8,453,749
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
学術奨励賞基金	4,600,000		
血栓止血学会振興基金	15,000,000		
指定正味財産合計			19,600,000
2. 一般正味財産			
正味財産合計			114,063,375
負債及び正味財産合計			133,663,375
			142,117,124

正味財産増減計算書

平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
①受取会費	22,425,000
②受取寄付金	62,197,503
③事業収益 (注1)	8,514,654
④雑収益	3,101,816
経常収益計	96,238,973
(2) 経常費用	
①事業費	
会誌関係事業費	9,251,401
学術集会事業費	48,987,606
SSC 事業費	2,207,938
IT 事業費	313,950
学術奨励賞事業費	400,000
②管理費 (注2)	22,834,739
経常費用計	83,995,634
当期経常増減額	12,243,339
税引前当期一般正味財産増減額	12,243,339
法人税, 住民税及び事業税	728,200
当期一般正味財産増減額	11,515,139
指定正味財産振替額	400,000
一般正味財産期首残高	102,148,236
一般正味財産期末残高	114,063,375
II 指定正味財産増減の部	
一般正味財産振替額	△400,000
指定正味財産期首残高	20,000,000
指定正味財産期末残高	19,600,000
III 正味財産期末残高	133,663,375

(単位：円)

(注1) 事業収益内訳

別刷収入	3,726,245
広告収入	3,644,797
会誌販売	1,143,612
受託業務収入	0
計	8,514,654

(注2) 管理費内訳

給与手当	6,613,413
法定福利費	772,289
会議費	1,204,866
旅費交通費	5,731,905
通信運搬費	1,067,370
消耗品費	733,033
印刷費	1,327,830
支払報酬	3,131,395
賃借料	1,566,500
支払手数料	67,466
雑費	618,672
計	22,834,739

正味財産増減計算書 内訳表

平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	学術集会 会計	SSC 会計	その他 特別会計	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①受取会費	13,651,000	7,880,000	894,000		22,425,000
②受取寄付金	20,207,503	40,785,000	1,205,000		62,197,503
③事業収益	8,514,654				8,514,654
④雑収益	58,832	3,042,984			3,101,816
⑤他会計からの繰入	2,720,378		108,938		(△ 2,829,316)
経常収益計	45,152,367	51,707,984	2,207,938		96,238,973
(2) 経常費用					
①事業費					
会誌印刷費	8,109,441				8,109,441
編集費	329,500				329,500
運送費	812,460				812,460
IT 事業費	313,950				313,950
事業費		48,987,606	2,207,938	400,000	51,595,544
②管理費	22,834,739				22,834,739
③他会計への繰入	108,938	2,720,378			(△ 2,829,316)
経常費用計	32,509,028	51,707,984	2,207,938	400,000	83,995,634
当期経常増減額	12,643,339			△ 400,000	12,243,339
税引前当期一般正味財産増減額	12,643,339			△ 400,000	12,243,339
法人税、住民税及び事業税	728,200				728,200
当期一般正味財産増減額	11,915,139			△ 400,000	11,515,139
指定正味財産振替額				400,000	400,000
一般正味財産期首残高	102,148,236				102,148,236
一般正味財産期末残高	114,063,375				114,063,375
II 指定正味財産増減の部					
一般正味財産振替額				△ 400,000	△ 400,000
指定正味財産期首残高				20,000,000	20,000,000
指定正味財産期末残高				19,600,000	19,600,000
III 正味財産期末残高	114,063,375			19,600,000	133,663,375

監査報告書

一般社団法人日本血栓止血学会
代表理事 坂田 洋一 殿

平成 25 年 5 月 20 日

一般社団法人日本血栓止血学会

監事 松野 一彦 ㊟

監事 高橋 芳右 ㊟

監事 大村 醇吉 ㊟

私たち監事は、当法人の平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの平成 24 年度に係る計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書について監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類を閲覧し、当法人の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等について監査しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上